



南小だより さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校

学校教育目標 「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

平成30年7月20日

かしこい子 やさしい子 たくましい子

第5号「夏休み号」

川越市立高階南小学校

日本の夏休みと宿題について

新井 啓太郎

明日から、長い夏休みが始まります。今年は、いつもの年より2日間多い、44日間の夏休みとなります。終業式で子どもたちに話をするために、外国の小学校の夏休みはどのくらいあるのか、日本の夏休みとどう違うのかを調べてみました。

アメリカやイタリアは3ヶ月、カナダ・フランス・フィンランド・中国・香港は2ヶ月と、日本より夏休みが長く、イギリス・ドイツ・オランダ・オーストラリア・ニュージーランド・スイス・シンガポールなどは6週間で、日本とほぼ同じ日数のようです。ただ、この中で、日本と同じように宿題が出るのは、イタリアとシンガポール・中国・香港だけで、そのほかの国、アメリカやカナダ・フランス・フィンランド・イギリス・ドイツ・オランダ・オーストラリア・ニュージーランド・スイスなどは、ほとんど宿題はないそうです。日本の学校では、44日間休んでも、1学期に勉強したことを忘れないように、しっかり復習できるようにと考えて宿題を出していますが、この考え方が、国々によって様々なようです。「夏休みくらい、勉強から解放されるべき」とか「夏休みは自分の興味のあること、好きなことに夢中になる時間。大量の宿題が出されてしまったら、その時間が奪われる。」等々。では、宿題のない国の子どもたちは、ずっと何もせずに、夏休みを楽しむだけなのでしょうか。

実は、宿題を出さない理由が二つあるそうです。その一つは、宿題がなくても、子どもたちが、自分から進んで大変たくさんの本を読むこと、もう一つは、自主学習する習慣が身に付いている子が多いことです。ですから、学校で休みの前にたくさんの本を持ち帰らせたり、宿題を出したりする必要がないんです。日本の子どもたちはというと、この自主学習（家庭学習）があまりできません。宿題がなければ自主学習をしないという子がほとんどです。お子さんはいかがでしょう。

この夏休み、宿題だけではなく、自分の好きな本をたくさん読んだり、好きなことを徹底的に調べたり、考えたり、まとめたりといった自主学習に取り組んでくれたらと思います。終業式でも子どもたちに話しました。「みなさんが、自主学習をしっかりするようになれば、日本の夏休みも宿題がなくなるかも……。」

保護者の皆様からも、ご自分の経験を活かした有意義な夏休みの過ごし方について、子どもたちへのアドバイスをぜひお願いします。

安心・安全な夏休みを！

安心・安全な夏休みとなるよう、次の3つのことにご家庭でも注意をお願いします。

その1、交通事故に遭わないように、十分注意しましょう。

交通事故原因のトップは、飛び出しです。（歩行中でも自転車乗車中でも同じ）。

ご家庭で → 交通安全については、「飛び出しはダメ！」の毎日の声かけと見守りをお願いします。

その2、家の仕事や手伝いをしましょう。

毎日の手伝いは、良い習慣になります。家族のために役に立つような手伝いをさせてください。

ご家庭で → チャレンジしたことに「助かったよ。ありがとう。」のねぎらいの言葉をお願いします。

その3、生活リズムを整え、心も体も元気に過ごしましょう。

夏休み中の生活の乱れや体調不良により、9月からの新学期に、元気に登校できなくなる傾向があります。また近年は、2学期始業式の日が自殺者数の最も多い日となっており、社会の大問題となっています。

ご家庭で → 少年は手を離せ目を離すな（子育て四訓）、しっかりと見守りをお願いします。

※ サマーリフレッシュウィークについて

平成30年8月11日（土）～8月16日（木）は、学校は閉庁になります。（裏面に文書有り）